

令和4年度 青森市子ども会議 臨時会議

- 1 日 時 令和4年5月14日（土）9時30分～12時30分
- 2 場 所 青森市役所 議会棟4階 第2委員会室
- 3 出席者 会場参加：子ども会議委員12名、子どもサポーター2名、事務局3名
オンライン参加：子どもサポーター1名
- 4 活動内容 (1) 第1回子ども会議に向けて
(2) Aomo LIVE（アオモライブ）について
(3) 子どもの権利普及啓発グッズについて

5 開催概要

第1回青森市子ども会議の準備を行うための臨時会議を開催しました。

第1回子ども会議に向けて

前回の事前顔合わせ会に引き続き、今年度の活動について話し合いました。子ども会議に長く参加している高校生委員から「グループに分かれて活動してはどうか」という意見があり、今年度は2グループに分かれて活動を進めることにしました。各グループで進める内容は、前回子ども会議でやりたいこととして出し合った意見を踏まえ、「イベント等の開催」と「青森市内の各地域について調査」の2つとし、実際にグループに分かれて活動方針などについて話し合いました。

次に、全員で今年度の活動テーマを決めました。すぐにテーマが決まらなかったため、テーマに取り入れたいキーワードをみんなにあげてもらったところ、「発信」「深掘り」「じゃわめぐ」「盛り上げる」などがあげられましたが、「去年は『青森市の魅力再発見』だったから、それを発信するということが、『発信』というワードが良いと思う」との意見に賛成者が多かったため、「発信」を使うことになりました。また、「発信をわざとひらがなにして『発信』と『発進』の2つの言葉をかけたかどうか」という意見に他の委員も賛成したため、『青森市の〇〇をはっしん!』というテーマが決まりました。

最初は、〇〇の中に「知らない」「観光」「魅力」「わいは（驚き）などの津軽弁」「楽しい」「大好き」などの言葉を入れる予定でしたが、「活動していく中で、それぞれのチームではっしん（発信・発進）していくもので〇〇を埋めよう！」という意見が出たため、〇〇のままにすることにしました。

次に、第1回会議での役割を決めました。司会者や発表者、スライドを操作する人、LIVE 配信する人などたくさんの役割がありましたが、みんなが進んで立候補してくれたので、スムーズに決めることができました。「やりたい！」と手を挙げてくれた委員の中には、当日学校の行事で参加できない人もいて少し残念でしたが、また次の機会に活躍してほしいと思います。

発表に使うスライドを小学生委員がつくってみたいと言ったので、他の委員はサポートに回ることとし、その様子を見ながら別の高校生委員が発表原稿をつくりました。

顔を合わせたのはまだ2回目ですが、チームワークもばっちりです。



〈各グループで話し合った内容について〉

○イベント等の開催 グループ

- ・テーマ…青森市のじゃわめぎをはっしん！
- ・活動について…青森市のじゃわめぎを発信するため、自分たちでイベントを企画または他団体が開催するイベントにお邪魔し、中心商店街の活性化につなげたい。



イベントでは、ミニスポーツコーナー、スタンプラリー、Instagramのハッシュタグを活用したミニイベントの実施など、これまで取り組んできた活動も取り入れながら、盛り上げられる内容にしたい。

じゃわめぐ青森市の実現に向けて、イベントの参加者も巻き込みながら、一緒に第一歩を発進できるよう、子どもの権利に関するトークイベントなども開催したい。

○青森市内の各地域について調査 グループ

- ・チーム名…PCAPCA(パカパカ)

由来：「Presentation of the Charm of Aomori city (青森市の魅力を発信)」の頭文字である PCA とし、読み方は発進にかけて馬が歩く音であるパカパカとした。

- ・活動について…昨年度開設した公式 Instagram を活用し、さまざまな情報を発信する。

若者向けにカフェやおすすめメニューの紹介。

昔から続いているお店と新しくできたお店の違いの調査。

青森の食材が使われているお店の紹介。

漁師カードのような青森市の PR カードを作成し、イベント等で配付。

(安方はアスパム、緑はサンロード青森、幸畑は雪中行軍遭難資料館など)

あまり知られていない各種スポットを調査。(雪中行軍記念資料館、野木和公園、浪岡の城跡、県立美術館や郷土館など)



Aomo LIVE（アオモライブ）について

今年度から始まった市の新しい情報発信ツールである「Aomo LIVE」で発信するため、子ども会議をテーマにした動画を撮影することになりました。

撮影は来週の第1回会議が終わった後に行いますが、その撮影で使用する小物を手分けして作成しました。

子どもの権利普及啓発グッズについて

最後に、今年度の子どもの権利普及啓発グッズについて話し合いました。Tシャツ、トートバック、マスク、リストバンド、キーホルダー、ボールペンなど多くの意見がありました。今日参加した委員の中で特に作成したい！と意見が多かった「Tシャツ」、「トートバック」から1つ、「キーホルダー」、「ボールペン」から1つ、それぞれグッズを選ぶことにしました。また、今日参加しなかった委員からの意見も取り入れるため、グループLINEで多数決をとり、後日グッズを決定することとしました。



今回は、いよいよ市長に今年1年間の活動予定を報告する第1回青森市子ども会議です。いつもより早い集合となりますが、頑張りたいと思います。